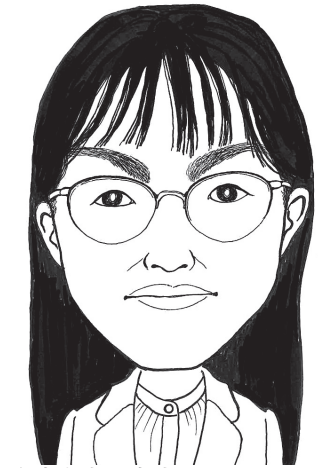


高齢者安全運転支援装置設置費補助について

町長 高齢者への交通安全対策は、移動手段の確保を主眼に実施していく



やまもと なお
山本 奈央 議員

問 国は令和2年からサポカー補助金制度を実施し終了した。町では運転免許を自主返納した方へタクシ乗車券助成事業を行っているが、地方では車が欠かせない移動手段である。町独自で安全運転支援装置設置の補助制度を設けてはどうかか。

町長 補助制度実施の道内自治体も複数あるが本町では実施していない。高齢者の運転による自家用車の事故リスクを回避するために自家用車以外の移動手段を確保し運転免許

みどりの食料システム戦略推進交付金について

町長 他市町村の取り組みを参考としながら関係機関と協議し、検討していく

証の自主返納を勧めている。免許返上者及び高齢者に係る交通安全対策は自家用車に対する補助ではなく移動手段の確保を主眼に実施していく。

問 国は令和3年「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立実現に向けた方向性を示している。みどりの食料システム戦略で推進されている取り組みを活用することも清水町の発展に繋がると予想される。町の今後の方針を伺う。

町長 世界情勢や円安の影響を受け、化学肥料の高止まりが続く。町としても出来る限り過剰な施肥を抑えるため土壌分析への支援や有機質肥料の利用促進、環境保全型農業直接支援交付金の推進に取り組んでいる。今後は他市町村の取り組みを参考としながら関係機関とも協議し本町におけるみどりの食料システム戦略の活用について検討していく。

ゼロカーボンの実現に向けた理解の促進について

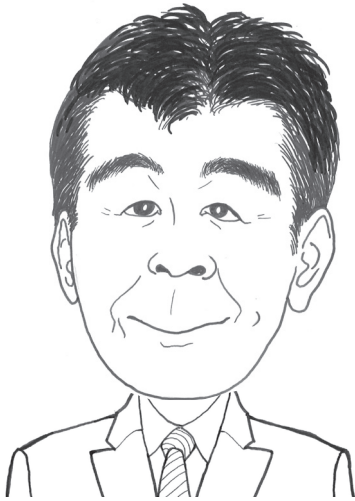
町長 効果や課題をよく理解しながら適切に進めていく

問 ゼロカーボン実現に向けて、利点の情報に触れることは多いが、欠点の情報に触れることは少ない。安全安心に暮らしつつけるまちを次世代に繋いでいくために、両面の視点を持つことは大切である。太陽光パネル設置による景観の課題や2030年頃から予想されるパネル廃棄量増加など、ゼロカーボンの実現に向けた欠点についての認識を伺う。

町長 施設設備に費用を要すること、発電設備による景観や環境への影響、設備の廃棄処理システムの確立など様々な課題がある。景観や環境への影響などを無視せず、再生可能エネルギー設備を整備することによる効果や課題をよく理解しながら適切に進めていくことが重要と考える。



ソーラーパネル



ふかぬま たつお

深沼 達生 議員

農業情勢について

引き続き作物の生育過程での注意喚起や対応策などの情報発信を行い、生産者への支援を行う
町長

問

農業情勢はいまだ厳しい状態が続いている。肥料は昨年に比べ2割ほど安くなっているものの依然高止まりの状態が続き、飼料においても価格が少し下がっているが高止まりの状態である。今年の収穫においては小麦がよかったものの、8月から9月の高温によりビート、イモ、小豆、大豆などの作物が被害を受けている。

このような現状を町としてどのように受け止めているか伺う。

また、昨年同様、町独自の肥料高騰対策の考えはあるか伺う。

町長

農業を取り巻く情勢は、

国際情勢の不安定化や円安の影響により生産資材や飼料、肥料等の価格が高騰し、農業経営に大きな影響を与えている。町としては、関係機関とも連携の上、自給飼料品質



JA 十勝清水町肥料倉庫

向上対策の推進や、土壌診断による施肥適正化の推進、可変施肥によるコスト低減、作物の生育過程での注意喚起や対応策などの情報発信を行い、生産者への支援を行っている。

町独自の肥料高騰対策については、関係機関と連携し、持続可能な経営への十分な支援の動向を見据えつつ、検討して行きたいと考える。

スクールバスの運行について

教育長 運転手と協力し、対策を徹底している

問

スクールバスを毎日利用する子ども達にとっては安心、安全を第一に考えなければならぬ。昨年从今年6月にかけて乗車児童の降ろし忘れがあり、心配する保護者がいた。

これまでどのような対策をしてきたのか伺う。また、部活バスを4月にも運行すべきと考えるがいかがか。



スクールバス

教育長

運転手の誤認を防止す

るために、乗車する子ども達と各学校にもご協力をいただきながら、乗車時に運転手に対して必ず学年と氏名を名乗ってもらうなどの対策をとっている。

部活バスについては、毎日約30名の生徒を乗せて5月から11月末までの期間で送迎している。春先の路面状況や運行の安全を第一に考え、送迎する保護者の負担軽減も考慮したうえで、4月からの運行について検討していきたいと考える。